

このバンブーシューツ（筍）が大和高田市とリズモ-市の情報交換に役立つ立派な竹に成長しますように

<オーストラリアの花>



[ニューサウスウェールズ州の
州花ワラタ]
(Waratah)



[長岡さんによるデモンストレーション]

[オーストラリアの国花 ゴールデンワトル]
(Golden Wattle Acacia Pycnantha アカシア属の花の一種)

オーストラリアの国花であるゴールデンワトルは、日本でいうところの桜のような感じです。この花が咲くと、人々は春が来たことを実感します。

ゴールデンワトルは、国の紋章にも使われています。また、スポーツでは、ナショナルチームのユニフォームの色としても、ワトルの花の黄色と葉の緑色が使われています。

他に春を告げる花として、ジャカランダもあります。この花は、オーストラリアに住む日本人から「紫の桜」と呼ばれています。



[サッカーナショナルチームユニフォーム]



[オーストラリアの国章]



[ライスフラワー]



[コアラファン]



[満開のジャカランダ並木]



[グラスペディア]



[ユーカリ]



[ワックスフラワー]



[バンクシア]

<金環日食>

5月21日の朝、太陽が月に隠れてリング状に見える「金環日食」が日本の広い地域で観測できました。



大和高田市でも、午前7時半前後の2~4分間の僅かな時間でしたが、美しい金環を見ることができました。通勤や通学時間と重なる時間帯だった為、学校によっては登校時間をずらしたところもありました。

奈良県で金環日食が観測できたのは、1730年以來282年振り、次に見られるのは、83年後の2095年です。

<再び大和高田を訪れて>

今年、私は日本へ2度目の旅行に来ました。私は、この国がとても美しく、人々はとても優しいので大好きです。以前、交換留学の際、ホームステイした亀田さんの家を再び訪れ、共に過ごしました。亀田さん一家は、とても優しく私を迎え入れてくれました。

彼らは私を、奈良にある多くの有名なお寺や神社に連れて行ってくれました。どのお寺も素晴らしく、その建造物は驚くばかりの美しさでした。

私たちが東大寺に行った時、鹿せんべいをあげようとしたのですが、多くの観光客でどの鹿もお腹が一杯のようで、欲しがりませんでした。しばらく歩き回り、やっとお腹がすいていそうな鹿に出会いました。

滞在中に日本食も食べました。お餅はとてもおいしくて、モチモチしていて、たくさん食べました。



私は2ヶ所の温泉にも連れて行ってもらいました。とても新鮮で落ち着きました。露天風呂では音楽が流れていて、雰囲気も楽しむことができました。ハーブのお風呂も素晴らしく、香りも良かったです。

別の日には、いちご狩りに行きました。温室の中で半時間、好きなだけいちごを摘んで食べることができます。最高でした！

家では、マリオやポケモンなどのゲームをたくさんしました。

大和高田で過ごした時はとても楽しいものでした。そして最後に一言、言いたいことは、桜がとても、とても、とても美しかったです！

Rosemary Murphy

<ローズマリーと過ごした10日間 (4/15~4/24) >

以前僕の家でホームステイしたローズマリーが、3年半振りに会いに来てくれました。

家族と一緒に、東大寺や奈良公園に行きました。また、温泉やイチゴ狩りにも行きました。ローズマリーはイチゴが大好きなので、イチゴ狩りはとても喜んでいました。オーストラリアには、温泉もイチゴ狩りも無いそうです。

家では、たこ焼きが好きなローズマリーに楽しんでもらおうと、たこ焼きパーティーをしました。ローズマリーはたこ焼きを「くるっ」と回転させるのが楽しかったみたいです。何回かするうちに、ローズマリーも上手にひっくり返せるようになりました。

4月23日は僕の誕生日だったので、みんなでパーティーをしました。ママとローズマリーが料理を作ってくれました。ローズマリーは僕が好きなポケモンの絵を自分で刺しゅうした、手作りの額をプレゼントしてくれました。とても嬉しかったです。

英語もたくさん教えてくれました。トランプやゲームもたくさんしました。

僕はまたローズマリーに遊びに来て欲しいと思いました。

小学6年 R. K



3年半振りに我が家に来た彼女は、日本語がとても上手になっていてびっくりしました。前回のホームステイの時に、「また絶対に日本に来るから…」と話していたので、その時のために一生懸命日本語を勉強していたようです。彼女の頑張りに関心しました。そのおかげで、今回はとてもスムーズに、コミュニケーションがとれました。

彼女は、東京・京都・広島・奈良、そして再び東京というコースで今回の旅行を楽しんでいました。再びこの大和高田市に立ち寄り、我が家で過ごしてくれた事はとても嬉しかったです。

大和高田市とリズモー市の交換留学制度が益々実りあるものになります事を願っています。

N. K

<大和高田の名所>

第11回

今回は、

「弥勒寺」を紹介します。



弥勒寺は土庫小学校の北西にある寺院で、言い伝えによると、土庫氏の氏寺として天文年間(1532~1554)に創建されたと言われてはいますが、詳しいことはわかっていません。

本尊は弥勒仏坐像で、江戸時代に建てられた本堂、鐘楼、庫裏などを残しています。

現在弥勒寺は、弥勒仏坐像を安置するための本堂を解体修理中です。



< 弥勒仏坐像、国指定重要文化財に >



この度、大和高田市土庫の弥勒仏坐像が国の重要文化財に指定されることが決まりました。大和高田市での国重要文化財の指定は不動院本堂について、2 件目です。

弥勒仏坐像は、弥勒寺の本尊の仏像です。像本体だけで 147 c m の高さの大型の像で、脚部も含めたほぼ全体が、広葉樹（サクラ？）の一木で造られています。

肉付け豊かな身体の表面は、重厚で古い様式を残していますが、丸顔のおだやかな顔や、整理された衣文などから、製作は平安時代後期の 10 世紀末から 11 世紀初頭と推定されます。

耳たぶに網目の文様を刻んでいるのが特異で、膝の衣文線を足首の下にまとめる表現も、この時期の作例には珍しいといえます。

光背・台座は、江戸時代に追加されたものです。像の表面も江戸時代に漆が塗られ金箔が施されますが、全体的に大きな改造は無く、胴体の保存状態は良好です。

奈良県内には、平安時代後期の古い様式の一木彫の仏像が数多く残されていますが、優れた数少ない弥勒仏の大作として、彫刻史上高い評価を得ることになりました。

弥勒仏坐像は、5 月下旬まで東京国立博物館で保管された後、一時寄託先である奈良国立博物館で展示される予定ですが、修理のため数年間、専門の機関（京都府）に入ることも検討されています。

残念ながら、実物を今すぐ見ることはできませんが、大和高田市の誇れる大きな遺産が、一つ増えました。

< 学校紹介 >

大和高田市立浮孔西小学校



[英語の授業]

[先生は
オーストラリア人です]



浮孔西小学校は、奈良盆地の北西部、大和高田市の南部の葛城山にいだかれた住宅地にあります。昨年度、創立 30 周年を迎えた学校であり、市内では最も新しい学校です。

児童数は 366 名で、男子 180 名、女子 186 名です。素直で気さくな子供たちばかりで、朝も元気よく挨拶してくれます。また、掃除も自ら進んで熱心にする子が多く、廊下の雑巾がけもていねいにするので、ピカピカです。

運動場の広さ（11,680 m²）は、市内で一番広く、子供たちは、ボール遊び、竹馬、一輪車、鬼ごっこなど、のびのびと活動しています。

また、月 2 回、昼休みを「ゴールデンタイム」と称して、いつもの 20 分より長い 40 分間とり、子供たちが運動場で十分に遊んでいます。皆、この時間をとても楽しみにしています。

行事としては、秋に「焼き芋集会」を全校あげて行なっています。運動場の一角を畑にして、5 月にサツマイモの苗を植え、焼いた籾殻の山にサツマイモを入れ、焼き芋にして食べます。焼き芋集会では、畑の畝づくり、苗・肥料の世話をしてくださった地域の方を招待して、サツマイモコンテストやゲームをして過ごします。

地域ボランティアさんの協力により、英語活動の支援をしていただいたり、朝の登校では、毎日、子供たちを見守ってくださっています。さまざまな面で、地域の協力や支援によって学校が成り立っています。

ーリズモー市の行事ー

<グランドペアレンツ・デー>

グランドペアレンツ・デー (Grandparents Day) は国のシニアウィークの一環として祝われています。

その期間の最終日にあたる4月5日に、Dunoonパブリックスクールでは、その催し物が開かれました。生徒たちは、祖父母を学校に招待し、コンサートやお茶会を催しました。親達は、そのお茶会の準備をします。私たちには、この学校に通う2人の孫がいるので、これまで数年間この特別な行事に参加してきました。子供たちは、見事にマリンバの演奏をし、歌も歌って、感動的な発表をしました。

マリンバ演奏は Dunoon スクールの音楽プログラムの大きな見どころとなっています。毎年生徒たちの代表が、シドニーのオペラハウスや、エンターテイメント・センターに行って、マリンバの演奏を行なっています。



<命の絆リレー Relay for Life>



【市長さんも命の絆リレーに参加】

リズモー市や周辺の村々をつなぐ命の絆リレーが、4月28日に行われました。それは、ガン学会に多くの募金をするためです。リズモー市は、116,000ドルの寄付金を集めました。人々は土曜日の午後3時から日曜日の朝9時まで歩いて、ガンの研究調査のための基金を募るために名簿に登録して活動します。この活動は、家族や友人をガンで亡くした人たちだけでなく、ガンの生存者やガン患者を看病している人々にもよく知られています。今年のメッセージは、「今後のガン患者を助けるための治療と生存者の希望」です。リズモー市では約1,000人で構成される100チームの申し込みがあり、大きな支援をしました。ガン募金は5月の終わりまで続けられていて、多くの人々が大きな目標に向けて貢献します。

Colleen Virtue

<交換留学生決定>

大和高田からリズモーへの今年の交換留学生が決定しました。

随行教員である片塩中学校の横井 弘子先生と共に次の5名の高校生が7月25日から8月7日までの14日間、リズモー市を訪問する予定です。

【横井 弘子先生】

今回共に行く5人のように、私も海外に憧れる女の子でした。ですから、この機会を大変嬉しく思っています。彼女たちには、オーストラリアと日本の違いを体感し、自らの可能性を広げてくれることを願い、そのためのサポートを精一杯したいと考えております。

【赤井 美月】

私は、現地の人々とのコミュニケーションをたくさん取り、日本や大和高田市の良さを伝えながらも、オーストラリアについて、様々な知識を身に付け、自分にとってもプラスになることを学びに行きたいです。

【押川 穂香】

現地では、自らたくさんの人とコミュニケーションをとり、協力することの大切さ、お互いを知ろうとすることの大切さ、などを学び、リズモー交換留学生としての経験を自分の将来の夢に繋げることができればと思います。



【平巳 瑞穂】

私はリズモー市へ行って、何よりもまずオーストラリアと日本との違いを学び、その違いをとにかく楽しもうと思います。また、私が好きな日本の一部分を、現地の人々に少しでも伝えることが出来たらと思います。

【山野 佳代】

私はリズモーで、今まで経験することの少なかった生の英語に触れて、英語の大切さを学び、日本語の「いただきます」や「ごちそうさま」という言葉がどんなに素敵な意味を持っているかを伝え、使ってもらいたいと思います。

【山野 真奈】

リズモーの文化や生活に触れ、積極的に相手と深く理解しあい、大和高田市とリズモーの友好関係を築きたいです。また、書道を通して日本独自の文字の美しさに興味を持ってもらうことで、日本の文化を伝えたいと思います。

● 訃報 ●



5月7日に、友好協会前会長で顧問の池内博彦さん（79歳）が、お亡くなりになりました。

生前は、リズモー市と大和高田市の友好に尽力されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。